

平成27年5月26日
独立行政法人国立美術館
国立新美術館

民間競争入札実施事業
国立新美術館の管理・運営業務実施状況について

1 事業の概要

(1) 委託業務内容

国立新美術館の管理・運営業務

統括管理業務、建築設備維持管理業務、常駐警備及び巡回警備業務、運営支援業務、
講堂・研修室における管理・運営業務、緑地管理業務、清掃業務、廃棄物処理業務

(2) 業務委託期間

平成25年4月1日～平成28年3月31日

(3) 受託事業者

国立新美術館管理運営共同事業体

代表企業 鹿島建物総合管理株式会社

構成員 都市美装株式会社

株式会社協栄

電音エンジニアリング株式会社

かたばみ興業株式会社

株式会社シービーエス

三東運輸株式会社

(4) 受託事業者決定の経緯等

美術館の管理・運営業務民間競争入札等実施要項等（平成24年11月16日公告）に基づき、第1次審査として入札参加表明者（3者）から提出された入札参加表明書等について、審査した結果、1者は入札参加資格を満たしていたが、残りの2者については入札参加資格を満たしていなかったため、第1次審査を通過した1者から入札書及び提案書を提出させた。

提案書については、平成25年2月15日に開催した美術館に設置した外部有識者からなる国立新美術館官民競争入札等評価委員会において基礎項目を満たしているか否かを審査した結果、いずれも満たしていたため、基礎点を付した。引き続き同委員会において加点項目について審査し、入札参加表明者に加点を付し、基礎点及び加点の合計額

を算出した。

入札金額については、平成25年2月20日に開札したところ、予定価格の範囲内の価格が提示された。提案書の基礎点及び加点の合計額を入札価格で除して得られた総合評価値を算出し、応札した1者を落札予定者とした。暴力団排除条項該当性の有無に関する照会を経て、平成25年3月21日に落札者として決定した。

2 対象公共サービス(国立新美術館の管理・運営業務)の実施内容に関する状況及び評価

(1) 確保されるべきサービスの質

① 包括的な質

項目	要求事項	評価指標	結果
継続性・安定性の確保	対象施設を継続的、安定的な利用に供すること。	対象施設の一時的閉館や開館不能の状態を招くような重大な業務上の瑕疵の発生	(発生回数) 平成25年度：0回 平成26年度：0回
信頼性の確保	対象施設の運営に重要な支障を与えないこと。	対象施設の運営に重要な影響を与える業務上の瑕疵による事象(作品の損傷及び紛失、人身事故等)の発生	(発生回数) 平成25年度：0回 平成26年度：0回

② 個別業務の質

項目	要求事項	評価指標	結果
館内及び外構清掃業務	施設が清潔な環境に保たれていること。	アンケートによる観客の「清掃状況」の不満足度(5%以下)	適 平成25年度0% 平成26年度0.1%
植栽管理業務	視覚的、衛生的に適切な植栽管理がなされていること。	アンケートによる観客の「植栽管理」の不満足度(5%以下)	適 平成25年度0.2% 平成26年度0.2%
会場管理業務	館内での会場管理(看視、応対等)が適切に行われていること	アンケートによる観客の「会場管理業務」の不満足度(5%以下)	適 平成25年度0.8% 平成26年度1.3%
警備業務	館内での警備業務が適切に行われていること	アンケートによる観客の「警備業務」の不満足度(5%以下)	適 平成25年度0.6% 平成26年度0.6%

総括評価	個別業務が年間を通じて適切に行われていること	アンケートによる顧客の「総括評価」の不満足度(13%以下)	適 平成25年度 1.6% 平成26年度 2.2%
------	------------------------	-------------------------------	---------------------------------

③ モニタリング

業務について日常モニタリング（業務日誌及び月次報告等）、定期モニタリング（巡回及びヒアリング等）及び臨時モニタリング（巡回）を実施した結果、平成25年度及び平成26年度については、特に指摘することはなかった。

以上のことから、確保すべきサービスの質については、全て達成していると評価できる。また、モニタリング実施結果からも事業が円滑に行われている。

（2）民間事業者からの主たる改善提案

【実施状況】

① 危機管理委員会を開催し、帰宅困難者発生時の対応ルールを策定。初めての全館訓練を実施した。

② 日常点検・巡回により把握した施設設備の経年劣化状況の報告と改善提案を受け、設備更新の必要性や緊急性についての情報を有効に活用することで、設備更新の予算要求の参考になった。

③ エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく対応

BEMS（Building and Energy Management System）により、詳細なエネルギーの使用量と室内環境の把握を行い、その情報を定例的に開催する省エネルギー推進会議へ報告し、省エネルギー対策に生かすなどの取り組みを行った。このことにより、平成25年度使用電気量が11,087,794kWh（▲2.1%）、平成26年度使用ガス量が1,041,804 m³（▲6.7%）となった。

電気	使用量 (kWh)	対平成24年度削減率 (%)	備考
平成24年度	11,320,094	—	
平成25年度	11,087,794	▲2.1	
平成26年度	11,551,502	2.0	大規模展覧会を開催したことにより来館者増の影響。
平成25・平成26年度平均	11,319,648	▲0.1	

ガス	使用量 (m ³)	対平成 24 年度削減率 (%)	備考
平成 24 年度	1,115,685	—	
平成 25 年度	1,083,655	▲2.9	
平成 26 年度	1,041,804	▲6.7	展示室に作品がない時期に空調機の稼働台数を減らしたため。
平成 25・平成 26 年 年度平均	1,062,729	▲4.8	

水道	使用量 (m ³)	対平成 24 年度削減率 (%)	備考
平成 24 年度	72,127	—	
平成 25 年度	68,088	▲5.6	
平成 26 年度	82,768	14.0	大規模展覧会を開催したことにより来館者増の影響。
平成 25・平成 26 年 年度平均	75,428	4.4	

- ④ 展示計画や目標入館者数を基にした観覧者誘導及び作品保全のための監視並びに誘導計画の提案が行われ、円滑な誘導が行われた
- ⑤ 防災力強化への取り組みとして、自衛消防訓練の企画・実施を行い、職員の防災に対する意識を向上させることができた
- ⑥ 館内案内サイン（最寄駅への誘導サイン、別館、館内トイレ、ロッカーへの案内サイン等）の追加設置を支援し、来館者の観覧環境の向上に努めた。
- ⑦ 降雪により樹木被害を受けた際の危険除去作業及び樹木医の診断の実施により、来館者の安全確保に努めた。
- ⑧ 大規模展覧会開催時の懸案事項の提案及び対策が実施され、トラブルなく業務が実施できた。

(3) 実施経費の状況

【状況】

実施経費の状況は以下のとおりである。

(税抜)

項目	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
統括管理業務	26,100,000 円	24,840,000 円	24,840,000 円
建築設備維持管理業務	129,179,600 円	122,029,220 円	128,624,500 円
常駐警備及び巡回警備業務	175,532,340 円	156,339,829 円	157,680,197 円
運営支援業務※1	29,101,800 円	26,972,400 円	26,972,400 円
展覧会看視業務※2	46,848,055 円	39,480,260 円	39,480,260 円
講堂・研修室における管理・運営業務	19,200,000 円	14,400,000 円	14,400,000 円
緑地管理業務	10,891,000 円	6,900,000 円	7,350,000 円
清掃業務	31,826,400 円	28,500,000 円	28,500,000 円
廃棄物処理業務※2	2,775,120 円	2,705,010 円	2,705,010 円
合計	471,454,315 円	422,166,719 円	430,552,367 円
削減額 (削減率)	—	▲49,287,596 円 (▲11.6%)	▲40,901,948 円 (▲9.4%)

※1 平成 24 年度は総価契約、平成 25 年度及び平成 26 年度契約は単価契約である。

金額の比較をしやすいするため、平成 24 年度実績数量に平成 25 年度及び平成 26 年度の単価を乗じた。

※2 当該業務は単価契約。金額の比較をしやすいため、平成 24 年度実績数量に平成 25 年度及び平成 26 年度の単価を乗じた。

【参考】

(税抜)

項目	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
※運営支援業務 業務責任者	—	5,881,000 円	5,991,000 円

※管理・運営業務は、市場化テスト実施前から、同じ業務内容で包括契約をしていたところである。業務の見直しをした結果、平成 25 年度から運営支援業務については、業務責任者を配置することになったものである。

【評価】

市場化テスト実施前の平成 24 年度と比較すると平成 25 年度及び平成 26 年度の 2 年間の平均（上記の【参考】を除く）で、45,094,772 円（▲9.6%）実施経費が削減されている。

3 評価のまとめ

上記1. 2. のとおり、本業務の実施に当たり確保されるべき包括的な質として設定された「継続性・安定性の確保」及び「信頼性の確保」について、また、個別業務の質の水準については、達成されていると評価できる。

実施経費については、民間競争入札実施前の従来経費に比べ、1年あたり45,094,772円（▲9.6%）の削減を達成しており成果を挙げている。更に、施設管理・運營業務全体の包括的な管理により職員の負担を減らすことができた等、民間事業者の創意工夫が発揮されていると評価できる。

4 今後の事業について

市場化テストの1期目にあたり、仕様書水準を満たすサービスの質を達成しつつ、統括管理業務の一元的な管理のもと美術館特有の観覧者対応や建築設備の適切な維持管理により、費用を削減しながら効率的で安定した美術館運営が行われている。

しかしながら、実質的に1者応札となり、競争性が確保されたとは言い難い結果となった。

実質的に1者応札となった原因は、入札参加資格を満たしていなかった2者のうち、1者は入札参加に必要な要件を満たしておらず、残りの1者は書類の提出に不備があったためである。

以上のことから、引き続き市場化テストを継続し、次期事業では、入札参加に必要な書類の記載の仕方を修正する等の改善により、競争性が確保されるよう努めることとしたい。

なお、次期仕様については、警備のポスト数を必要に応じて調整することを検討しているところである。

以上

(別紙)

年度	展覧会名	アンケート数 ※1	不満足度					満足度※2				
			館内及び 外構清掃 業務	植栽管理 業務	会場管理 業務	警備業務	総括評価	館内及び 外構清掃 業務	植栽管理 業務	会場管理 業務	警備業務	総括評価
平成25年度	カリフォルニア・デザイン展	300	0%	0.3%	0.7%	0.7%	1.7%	93.7% (6.0%)	60.0% (36.7%)	58.7% (40.0%)	34.7% (61.7%)	61.7% (36.1%)
	貴婦人と一角獣展	300	0%	0%	1.3%	0.7%	2.0%	95.3% (4.3%)	58.7% (36.7%)	68.7% (28.3%)	40.0% (55.7%)	65.6% (31.2%)
	アンドレアス・グルスキー展	300	0%	0%	0.3%	1.0%	1.3%	97.0% (3.0%)	58.7% (37.0%)	60.0% (39.3%)	40.0% (57.3%)	63.9% (34.1%)
	アメリカン・ポップ・アート展	300	0%	0%	1.0%	1.0%	2.0%	96.0% (2.7%)	62.3% (31.7%)	56.7% (40.7%)	43.0% (54.0%)	64.5% (32.2%)
	印象派を超えて展	300	0%	0.7%	0.7%	0%	1.4%	88.7% (11.3%)	51.7% (40.7%)	59.0% (38.3%)	38.7% (59.7%)	59.5% (37.5%)
	合計	1,500	0%	0.2%	0.8%	0.6%	1.6%	94.1% (5.4%)	58.2% (36.5%)	60.6% (37.3%)	39.2% (57.6%)	63.0% (34.2%)
平成26年度	イメージの力展	300	0%	0%	1.0%	0.7%	1.7%	95.3% (4.3%)	52.3% (38.3%)	60.0% (36.0%)	37.3% (56.0%)	61.2% (33.6%)
	中村一美展	300	0%	0.3%	0.7%	0.3%	1.3%	93.7% (6.0%)	53.7% (39.0%)	60.3% (37.7%)	35.0% (58.0%)	60.6% (35.1%)
	バレエ・リュス展	300	0.3%	0%	2.0%	0.3%	2.6%	93.3% (6.7%)	59.7% (35.7%)	66.3% (30.7%)	45.7% (52.3%)	66.2% (31.3%)
	オルセー美術館展	300	0.3%	0%	1.3%	1.3%	2.9%	89.7% (9.7%)	62.3% (31.3%)	63.0% (32.3%)	39.0% (54.3%)	63.5% (31.9%)
	チューリヒ美術館展	300	0.3%	0.7%	1.3%	0.3%	2.6%	87.0% (12.7%)	52.0% (41.3%)	55.7% (41.0%)	34.7% (62.7%)	57.3% (39.4%)
	合計	1,500	0.1%	0.2%	1.3%	0.6%	2.2%	91.7% (7.8%)	56.0% (37.1%)	61.0% (35.5%)	38.3% (56.6%)	61.7% (34.3%)

※1 アンケート数は、同じ法人で市場化テストの先行例である東京国立近代美術館本館及び工芸館の管理・運営業務のアンケート数を参考にした。

※2 満足度の上段は良いの評価割合、()書きは普通の評価割合である。